

皮膚刺激性試験第三者委員会報告書
皮膚刺激性試験代替法（培養表皮モデル）

平成 23 年 11 月 19 日

皮膚刺激性試験評価委員会

赤松浩彦（藤田保健衛生大学医学部）
寒水孝司（京都大学大学院医学研究科）

皮膚刺激性試験代替法（培養表皮モデル）を用いる方法に対する評価委員会の意見

この度、JaCVAM（日本動物実験代替法評価センター）からの依頼を受け、OECD テストガイドライン No. 439 *In Vitro Skin Irritation Reconstructed Human Epidermis Test Method* 成立のもとになった ECVAM（European Center for the Validation of Alternative Methods）がこれまでに提出した培養表皮モデルを用いる皮膚刺激性試験代替法に関する提案書（以前に行われたものは除く）を和訳するとともに、それらの内容および関連資料を検討致しました。

その結果、EpiSkin、EpiDerm SIT 法および SkinEthics RHE 法（MTT 指標）を用いた皮膚刺激性試験代替法を OECD テストガイドラインに記載された条件下で適切に用いれば、化学物質の皮膚刺激性の有無を区別できると判断しましたのでここに報告致します。

以上